

誕生祭教祖に捧げる祭文

御存命の教祖の御前に慎んで申し上げます

今月十八日は教祖が この世にお生まれ遊ばされてから二百貳回目の御誕生日でございますので その理を戴き 只今これの教会でも誕生祭を執り行い一手一つに勇んでたすけづとめをお教え通りつとめさせて頂きましたので御前に参進し お祝いの言葉を申し上げます

教祖御誕生日まことにお芽出度うございます

思えば教祖は五十年に亘る長の年月〃月日のやしろ〃となつて 口に筆に無い人間 無い世界をおはじめ下された元の理を明かされ 自由に使う事を許された人間の心のあり方を詳しくお教え下された許かりでなく〃ひながたの親〃ともなつて如何なる厳しい苦難の中も神一条を貫き 自ら歩んで陽気ぐらしの実をいと懇ろにお示し下さいました 更に子供可愛い上から二十五年先の御寿命をお縮めになり やしろの扉を開いてからも〃御存命の理〃を以て変わりなく親心深く 世界たすけにお働き下さつております

私達はこのお道に早くからお引き寄せ頂いたお陰で 身近に教祖を拝せるようになり なつてくる一切に喜びを求め かななる節の中も明るく勇んで一日々々を送り迎えする事が出来 無上の幸せを味わつております

今日この吉き日 私達一同 改めて教祖の道具衆として 栄えある世界のふしんにお使い頂ける喜びを一段と深めて頂き 成程の人〃となつて にをいがけおたすけの実が一段と広く大きく見えて参りますよう懸命に努めさせて頂く覚悟でございます

何卒教祖 届かぬところは幾重にもお仕込み下さいまして この上ともに陽気づくめに努めさせて頂けますようお導きの程を一同と共にお願い申し上げます